

令和4年度 重点目標達成のためのアクションプラン

氷見市立十二町小学校

<本年度の重点目標>

いっしょに挑戦

	アクションプラン1	アクションプラン2	アクションプラン3
重点課題	表現力の育成	思いやりの心の育成	健やかな体づくり
前年度の課題	・学びのステップアップブックの活用や対話タイムの設定により、話題に沿って聞いたり話したりする意識が高まってきている。今年度も継続して対話の場を充実させ、自分の思いや考えを伝える場を設けるとともに、児童がより意欲的・主体的に学習に取り組めるように手立てを工夫する。 ・相手を思いやる行動をとる児童が増えてきた。また、進んで挨拶をする児童も多い。今年度は、日常的にほかほか言葉を使って思いやりのある行動をとったり、気持ちのよい挨拶を進んでしたりすることができるよう手立てを工夫する。 ・ゲームや SNS 等のメディア利用時間について、「すこやかチェック」等と関連付けて目当てをもたせたり、児童保健委員会による呼びかけを行ったりした。メディアの利用時間を減らそうと意識する児童は増えてきたが、高学年においてメディア利用時間が長い児童がいた。引き続きメディア利用の仕方を見直し、生活習慣を改善できるように手立てを工夫する。		
具体的な達成目標 (数値目標)	・相手の話をよく聞き、知りたいことや分からないことを知ろうと学習に取り組む児童が80%以上 (児童自己評価・保護者評価：4段階評価のA・B評価)	・学校や家庭、地域等で、誰にでも思いやりのある言葉遣いや行動をしたり、進んで挨拶をしたりする児童が85%以上 (児童自己評価・保護者評価：4段階評価のA・B評価)	・1日のメディア利用時間が2時間以内の児童が80%以上 (休日は3時間以内) (児童自己評価・保護者評価：4段階評価のA・B評価)
行動Ⅰ (方策)	<方策1> ・話す・聞くスキルを身に付けるために、学びのステップアップ週間を設定し、学級で決めた話し方・聞き方の重点項目に取り組む。 ・多様な考えに触れ、自分の考えを広げ、深めるために、「対話タイム」を行う。 <方策2> ・授業で、教材や発問等を工夫し、児童が意欲的に学習に取り組むことができる授業づくりに努める。	<方策1> ・思いやりのある行動や言葉遣い、気持ちのよい挨拶についてカードに記入し、互いに認め合う機会を日常的に設定する。また、記入したカードを「ほかほかの木」に位置付けて校内に掲示し、子供たちの実践意欲を高める手立てとする。 <方策2> ・ほかほか週間を設定し、自分の言動を振り返ったり、友達の思いやりのある行動を積極的に見付け、全校放送で紹介したりする。	<方策1> ・「すこやかチェックカード」や児童保健美化委員会による提案活動を生かしてメディアの利用時間の目当てをもたせたり、頑張っている児童を称賛する場を設けたりすることで、適切なメディアの利用時間を意識付ける。 <方策2> ・学級指導や個別指導を充実させたり、家庭でのルールを紹介する機会を設けたりして、メディア利用に対する実践意欲を高める。